

とやま県政をぐっと身近に!

富山県議会議員

# 井上学県政報告

令和2年夏号

発行:自由民主党  
富山県議会議員会



皆様、こんにちは。新型コロナウイルスの影響で、本年夏に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックも来年へ延期され、更には開催すら危ぶまれるなど、世界中が大変厳しい状態となっています。国や県では、コロナウイルス感染症の収束に向けて、また収束後の経済再生、景気回復、国内外の外交・防衛、社会保障の一体改革等々、重要課題に全力で取り組んでいます。

私も昨年4月の選挙におきまして2期目の当選を果たさせていただきましたが、心新たに、コロナ対策をはじめ、地域の発展に力を注ぎ、県政の重要課題に果敢に取り組んで参ります。行財政改革・観光振興・企業立地等、本県の活性化に受けた課題や北陸新幹線の大阪延伸、富山高山連絡道路の早期整備、中山間地域の活性化と医療・福祉・教育等の充実に全力で取り組んで参る所存です。

何卒、皆様方のご意見やご要望をお聞かせ頂き、皆様方の声を県政に反映させて参りたいと思います。是非、お声をおかけ下さい。しっかりとお役に立てるよう邁進努力いたします。今後とも、皆様方の変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和2年夏 井上 学

## 令和2年6月定例会 予算特別委員会

### 問1 新型コロナウイルス感染症対策と地方創生について

(1) 今後の働き方改革や新たな生活様式による劇的な変化を踏まえて、本県の特徴、強みを活かした新たな「とやまの未来創生」に向け、どのように取り組んでいくのか、所見を問う。

#### ポイント!

デジタル化やIT化の進展によってテレワークが進み、都市から地方への人の流れが大きくなっていく可能性がある中で、この機を逃すことなく、地方創生を加速させる思い切った対策が必要と考える。



#### (石井知事)

今回の新型コロナの問題を通じて、東京一極集中型の社会構造のリスクが改めて明らかになった。他方、テレワーク等の取組みが相当程度の成果があり、今が、デジタル革命を加速させ、社会構造を「地方分散型」に変え、真の地方創生の実現を図る大きなチャンスである。

このため、デジタル革命を加速化し、ものづくり産業の高度化や観光振興、スマート農業の推進、オンラインによる教育・文化、医療、福祉の充実、行政のデジタル化、移住の促進などに取り組み、次代を担う若者、女性にとって富山県の魅力を高めたい。

今後、デジタル革命がもたらすアフターコロナ時代の経済社会のあり方に関するビジョン・構想について、新たに検討会議を設置し、専門的な知見を有する全国レベルの有識者にも参画いただき、検討することとしている。

**(2) デジタル利用が進展するなか、多極分散型の国土形成の受け皿としてのデジタル環境づくりの取り組みを強化すべきと考えるがどうか、所見を問う。**

**ポイント!**

県6月補正予算案でも、県内全域の光ファイバー網の整備やデジタル革命への対応を支援する予算が盛り込まれている。

**(石井知事)**

今回の6月補正予算案では、関係する8市町とも相談し、かねて課題であったCATV網の光ファイバー化を一気に進めるため18億円の予算を計上したが、各市町や事業者の方々にも短い期間で事業実施を決断いただき、大変心強く思っている。また、事業者のデジタル対応を加速させるため、今議会で「地域企業再起支援事業費補助金」を増額し、新たに「デジタル革命推進」枠を設け、従来枠と合わせて7億円を増額する補正予算案を提案している。

**(3) コロナ禍による最近の雇用情勢を踏まえ、本県の今年の雇用情勢をどう捉え、今後の雇用の維持・確保に向けどのような対策を講じていくのか、問う。**

**ポイント!**

今般のコロナ禍により、県内における解雇や雇止め増加や有効求人倍率の下落、全国での就職内定率の低下など雇用情勢にも大きな影響が生じている。



**(布野商工労働部長)**

新型コロナウイルス感染症の影響等により、県内の有効求人倍率が6か月連続して低下し、感染症の影響が出始めた3月1日から6月19日までの解雇、雇止めが県内で394人となるなど、雇用環境は厳しさが増している。

県では、雇用の維持を図るため、社会保険労務士3名を配置し、雇用調整助成金等の相談・支援体制の充実を図るとともに、雇用の維持が難しい事業主と、人手不足等の状態である事業主との間で、一時的に出向等により人材を融通し、雇用の維持・継続を図る取組みを支援している。

また、就職氷河期世代や第二新卒者に加え、感染症の影響等により解雇・雇止めされた方々を対象として、人材活躍推進センターの機能を活かし、正社員就職を目指す研修や、合同企業説明会を実施することとしている。

**(4) 県内における外国人労働者の現状をどのように把握・認識し、今後の就労対策にどう取り組んでいくのか、問う。**

**ポイント!**

新型コロナウイルスの感染拡大による入国制限により、技能実習や「特定技能」在留資格を持つ外国人が来日できず、介護や農業などでは人手不足が深刻化している。

**(布野商工労働部長)**

本県の外国人労働者数は、令和元年10月末時点で、11,844人で、うち「技能実習」は6,209人、特定技能を含む「専門的・技術的分野」が1,183人となっている。

「技能実習」、「特定技能」の外国人労働者については、現在、本県が主に受け入れているベトナム、中国、フィリピン、インドネシアからの入国が拒否されており、来日予定であった新たな技能実習生等が入国できない状況が続いている。

技能実習生等については、本県での解雇、雇止めは報告されていないが、県としても、出入国在留管理庁と協力し、「技能実習」、「特定技能」を含む外国人労働者の雇用の維持、人手不足分野での就労促進を図ってまいりたい。

**(5) 東京一極集中のリスクから企業のみも地方に向き始めている中で、今後、更なる企業誘致の推進にどのように取り組むのか、問う。**

**ポイント!**

県では、平成27年10月から令和6年3月までに、雇用創出600人、企業の認定件数37件という目標を立て、本社機能や研究開発拠点を強化・拡充する企業の支援に取り組んできた。

**(布野商工労働部長)**

県では、昨年度までに22件の移転・拡充計画の認定を行い、全国トップクラスの実績をあげている。また、本社業務や研究業務といった新たな職域等で415人の雇用を創出している。県としては、東京圏からの企業誘致促進の

好機と捉え、東京等での企業立地セミナーの開催やきめ細かな企業訪問、本県の優れた立地環境や充実した支援措置等のPRを行うなど企業誘致の推進に積極的に取り組んでまいりたい。

**(6) With コロナ、アフターコロナ時代の観光集客にあたり、感染症終息後のV字回復に向け、選ばれ続ける観光地づくりのための今後の観光戦略をどのように考え、どう取り組んでいくのか、所見を問う。**

**ポイント!**

アフターコロナでは、3密回避の観点から自然や開放感のある観光地が好まれるなど、地方にとって好機になることも考えられ、インバウンドのないこの期間に、これまで不足していたことや3密回避のサービスのあり方を見直し、施策を講じていくべき。

**(石井知事)**

県では、6月補正予算案に、自宅にいながら本県の観光地や特産品、ものづくり体験等の魅力に触れていただけるオンライン観光モデル事業を盛り込んでおり、3密回避の新たな手法として、本事業を通じて本県の魅力を世界にも発信してまいりたい。

さらに、消費者の観光ニーズの変化を新たなチャンスと捉えて、外国人旅行者が見込めないこの時期に、インバウンド対応のスキルアップセミナーやコンテンツの磨き上げなど、将来の反転攻勢への備えを進めてまいりたい。

県では、今年度、新たな観光振興戦略プランの策定に取り組むこととしており、コロナ後の本県観光振興に向けた具体的施策も含め、各方面の幅広いご意見を伺いながら検討を進めてまいりたい。

**(7) コンベンションの誘致について**

**ア 今後も大規模なコンベンションの誘致には一層力を入れて取り組む必要があると考えるが、近年の大規模コンベンションの開催件数や種類、外国人の参加状況の推移はどうか、問う。**

**ポイント!**

今回のコロナ禍で、全国的、国際的な学会等の大規模なコンベンションの誘致も厳しい状況でないかと危惧する。



**(中谷観光・交通振興局長)**

本県のコンベンション開催状況は、平成30年度には、開催件数が321件、参加者数が108,958人と、ともに過去最多となり、着実に誘致実績を伸ばしている。

このうち、参加予定者が概ね1,000人以上の大規模コンベンションは、平成29年度から令和元年度までの直近3年間で見ると、各年度それぞれ13件で、新幹線開業前の平成26年度の約2倍となっている。

外国からの参加者数は、大規模コンベンションに限ると、ばらつきがあるが、中小規模も含めると、平成29年度は1,371人、平成30年度が2,069人、令和元年度が1,984人(速報値)となっている。

**(7) コンベンションの誘致について**

**イ 今年度、本県での開催が見込まれていた概ね1,000人以上のコンベンション15件の延期や中止などの状況と、今後のコンベンション誘致の推進方策について、問う。**

**ポイント!**

県の今年度当初予算では、コンベンションの開催支援として2,650万円が計上されている。

**(中谷観光・交通振興局長)**

今年度、本県で予定されていた参加予定者数が概ね1,000人以上の大規模コンベンション15件のうち、現時点で中止となったものが6件、WEB会議への変更が2件、開催延期が3件となっており、残り4件は今年度内に開催予定である。

更に、新型コロナウイルスの影響により、東京オリンピックが来年度に開催延期となり、来年度、首都圏で開催される予定であったコンベンションが、地方都市での開催に変更される動きが見込まれる。このため、6月補正予算案に、学会等の主催者に対し、本県の充実した補助制度についてPRするとともに、主催者への訪問回数及び主催者の本県への視察招待回数を大幅に増やすなど、コンベンション誘致強化のための経費を盛り込んでおり、今後とも積極的に取り組んでまいりたい。



**(8) 地元の災害情報をいち早く県民に周知するため、防災アプリの活用などを幅広く県民に促し、スマートフォンに直接情報を発信することが有効と考えるが、どのように取り組んでいくのか、問う。**

**ポイント!**

県民がリアルタイムで災害情報を得られ、危険度が高まった際に直接避難を呼びかけることも重要であり、本県においても「Yahoo! 防災速報アプリ」と連携して防災情報を発信している。



**(砂原危機管理監)**

県では、ヤフー株式会社と協定を締結し、同社の「防災速報アプリ」を活用して、災害に関する情報の配信を行っている。さらに、緊急時には、「緊急速報メール」や「災害情報共有システム・Lアラート」により、災害発生の恐れがあることを一斉に配信するなど、県民がリアルタイムで、災害に関する情報が得られるよう、努めている。

県では今後、この防災アプリやウェブなどによる情報の配信について、より多くの県民らに知っていただき利用いただけるよう、新聞等での県の広報やSNS、市町村の広報誌、戸別配布されるフリーペーパーなどにQRコードを掲載するなど利用を働き掛けるほか、出前県庁や自主防災組織に対する研修会など、機会を捉えて周知してまいりたい。

**(9) 特殊詐欺の対策について**

**ア 県内における近年の特殊詐欺の手口及び被害額の推移や、その結果をどのように分析しているのか、問う。**

**ポイント!**

全国民に対する一律10万円の特別定額給付金の支給が各市町村で始まり、これに便乗した詐欺や悪徳商法が全国各地で相次ぎ、県内でも不審なショートメールや電話が発生していると聞く。



**(大原警察本部長)**

県内における特殊詐欺の認知件数は、平成17年の288件がピークで、その後増減を繰り返しながら近年は減少傾向にあり、昨年は41件であった。一方、被害額は平成26年の約5億3,700万円をピークに減少を続けており、昨年は約4,300万円であった。

被害額がピークであった平成26年当時は、金融機関への振り込みや宅配業者を利用して、現金を送付させる手口が多発していたが、金融機関や宅配業者と連携した被害阻止により、それらの手口は減少した一方で、近年では被害者宅にキャッシュカードを受け取りに来る手口や、コンビニで電子マネーを購入させてだまし取る手口が増加している。今後も十分な警戒が必要であると認識している。

**(9) 特殊詐欺の対策について**

**イ 本県において、定額給付金詐欺など特殊詐欺による被害を防止するため、今後どのような対策を講じるのか、問う。**

**ポイント!**

今回の特別定額給付金に関しては、市町村や総務省とともに、詐欺の手口などをあらゆる手段で県民に周知することが重要と考える。

**(大原警察本部長)**

県内外で発生している定額給付金詐欺をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策に乗じた特殊詐欺や悪徳商法に対しては、取締りの面では、不審電話を受けたり、ショートメールが届いた時点から、早期に検挙体制を構築して、いわゆる「だまされた振り作戦」は元より、被疑者の徹底した追跡捜査を行い、犯人の早期検挙に努めることとしているところ。未然防止の面では、県警察及び県庁ホームページ、スーパーマーケットでの店内放送及びチラシ配布等を通じた情報発信に努めるとともに、金融機関やコンビニエンスストアにおける声掛け及び被害阻止を強力に推進していくこととしている。



## 問2 国道41号の復旧等について

### (1) 国道41号の富山市猪谷・片掛間における法面崩落により、隣接する地域高規格道路「富山高山連絡道路」の猪谷楡原道路の橋梁工事への影響はどうか、問う。

#### ポイント!

法面崩落による通行止めは、仮設道路により通行再開されたが、猪谷楡原道路の工事にも支障を来すのではないかと心配の声が聞かれる。



#### (江幡土木部長)

国においては、崩落した法面の対応及び猪谷楡原道路事業で工事中の橋梁の対応等を検討するため「国道41号片掛地区法面崩落対策検討委員会」を設置し、去る6月18日に開催された第3回委員会では、法面对策の工法について、崩落した法面を鋼管杭工で抑止する工法を基本とし、早急に具体的な検討を進めることとされた。

猪谷楡原道路の工事への影響は避けられないものと考えているが、「富山高山連絡道路」は、富山、岐阜両県の産業、経済の活性化、広域観光の振興などに大きく寄与する道路であり、早期の整備を国に対して強く働きかけてまいりたい。

### (2) 県内の幹線道路が災害等で不通になった場合、迂回路の確保の可否や迂回路における想定外の交通渋滞が生じないかなどを、事前に検討しておく必要があると考えるがどうか、所見を問う。

#### ポイント!

今回の法面崩落では、県道を使った迂回路が確保でき、また、新型コロナの影響で県を超えた移動の自粛期間と重なったことから、生活に大きな支障は生じなかったものの、別の箇所でも不通になった場合の対応について懸念される。

#### (江幡土木部長)

県管理道路においては、例えば、災害が発生しやすい雨量規制による通行止め区間において、並行する有効な道路がある場合には、あらかじめ迂回路を設定しており、全38区間に対し18区間で設定している。

災害は複数箇所でも同時発生する場合もあり、あらゆる災害に対する迂回路を事前に設定することは難しいが、できる限り早期に迂回路を確保できるよう、災害危険箇所や周辺の道路状況の把握、関係機関との連携強化などを進め、災害に強い道路ネットワークの整備に取り組んでまいりたい。

### (3) 道路の破損や陥没などの情報を住民から無料通信アプリ「LINE」で受け付けるシステムは、県民の「気付き」を行政に生かす有効なものであり、本県でも導入すべきと考えるがどうか、所見を問う。

#### ポイント!

小矢部市で運用され、迅速な対応につながっているほか、県外でも道路や河川、公園の損傷などに関する情報を受け付けている事例がある。

#### (江幡土木部長)

国や自治体などが協力して「道路緊急ダイヤル」を設置しており、県民からの情報をワンストップで受け、各道路管理者へ振り分けて対応するなど、日々の道路管理に活用しているところである。

ご提案の無料通信アプリを活用すれば、比較的簡単な操作で道路の異常を通報することが可能となり、場所の特定や状況把握が容易となることが期待できる。一方で、利用者自身がそれぞれのスマートフォンにダウンロードする必要があることが課題であると考えている。今後、このようなシステムを先行して導入している他の自治体の運用状況や課題について、十分、調査した上で本県での導入の必要性についても研究してまいりたい。





バイオマス発電所視察



観光建設部会で武雄市図書館視察



特殊詐欺防止キャンペーン



自見厚労大臣政務官と



加藤厚労大臣と



伊東農水副大臣と



政調会現地調査（氷見市）



予算特別委員会にて質問



射水ブロック政調会長会議



滝経営管理部長と意見交換



地域ブロック政調会にて

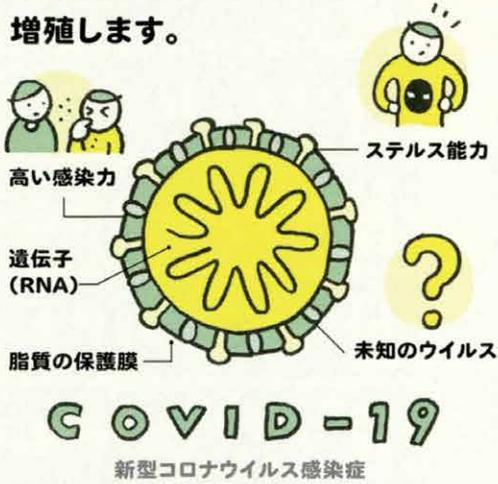


県政報告会（小羽地区）

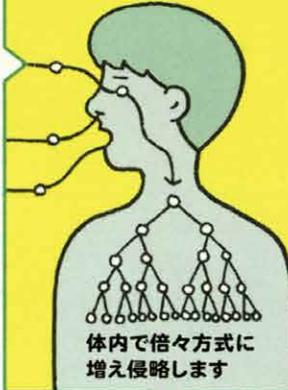


老人クラブ連合会にて県政報告

ウイルスは自分では増えません。  
他の生物の細胞に寄生し、  
増殖します。



眼・鼻または  
口の粘膜から  
侵入します。



✕ 殺菌剤、抗生物質は  
役に立ちません。



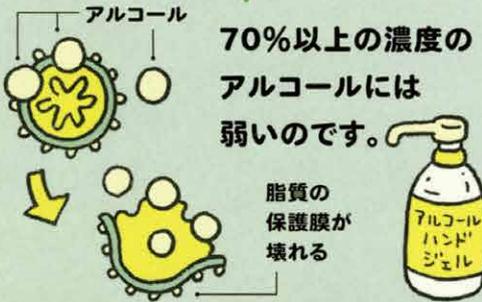
✕ マスクは正しく  
使いましょう。



飛沫感染を防ぐため  
人と2m以上の  
距離をとりましょう。



✕ 強いお酒を飲んでも  
役に立ちません。



目をこする



何気なく  
触れているものに  
気をつけましょう。



スマホ・  
携帯



✕ 部屋を締め切らない  
ようにする。



爪の間に  
ウイルスは  
隠れます。



手洗いはせっけん等を  
たっぷり泡だて、



流水でしっかりと  
流すこと。



やめよう。  
差別や  
偏見



## 井上学の主な活動

## 4月

- 1日 県連政務調査会（政調会）
- 2日 後援会会計打合せ
- 5日 高内春季祭礼神事
- 6日 県幹部と政調会意見交換
- 7日 県選管打合せ
- 8日 富山高等支援学校入学式  
議員会役員会
- 10日 政調会
- 12日 魚津市長選・市議選告示
- 13日 党コロナ対策会議
- 15日 政調会
- 16日 政調費打合せ
- 17日 議会運営委員会（議運）、議員総会
- 19日 魚津市長選・市議選投票日
- 20日 政調会オンライン会議
- 21日 コロナ対策知事要望
- 22日 議会運営委員会、正副委員長会議  
子どもPT会議、議員総会
- 23日 政調会
- 24日 県連常任総務会
- 27日 富山土木センター打合せ
- 28日 4月臨時議会、議員総会

## 5月

- 1日 政調会、経営管理部部長要望
- 2日 コロナ対策zoom会議
- 3日 憲法フォーラム
- 7日 コロナ関連zoom勉強会
- 8日 政調会
- 9日 後援会会計打合せ
- 11日 議運、政調会、議員総会

- 12日 政調会
- 13日 知事と意見交換
- 14日 政調費打合せ
- 18日 特殊詐欺防止キャンペーン
- 19日 富山南防犯協会打合せ
- 20日 地域ブロック政調会（県東部）
- 21日 常任総務会
- 22日 南防犯協会会長副会長会議
- 25日 党正副部会長会議、友好団体懇談会
- 26日 地域ブロック政調会（県西部）
- 27日 日韓友好議員連盟理事会
- 28日 コロナ関連zoom勉強会
- 29日 政調会

## 6月

- 2日 コロナ対策知事要望
- 4日 南警察署打合せ
- 5日 議運、議員総会
- 7日 党県連総務会
- 8日 経営企画常任委員会
- 10日 6月定例会開会、提案理由説明  
各種議連総会、政調会
- 11日 MOA議連総会
- 12日 代表質問、子どもPT、政調会
- 15日 役員会
- 16日 一般質問（1日目）
- 18日 一般質問（2日目）
- 19日 立山山麓森林組合意見交換会  
南防犯協会常任理事会
- 20日 石井知事後援会大山支部総会
- 21日 党大沢野支部執行部会
- 22日 予算特別委員会（1日目）

- 24日 予算特別委員会（2日目）、保育議連設立総会
- 25日 経営企画常任委員会
- 26日 議員総会、採決
- 27日 党大沢野支部総務分会長会議
- 29日 バイオマス発電所（射水）視察  
立山山麓森林組合総会
- 30日 隆山会役員会

## 7月

- 1日 土木部長打合せ
- 3日 富山南自主防犯パトロール隊役員会
- 5日 第2選挙区定期大会
- 6日 県管財課打合せ、防犯協会視察
- 7日 政調費打合せ
- 8日 上婦負地区自治振興会懇談会
- 10日 大沢野地区自治振興会要望
- 11日 党県連支部長幹事長事務局局長会議  
第2選挙区支部役員会
- 13日 南防犯協会打合せ
- 14日 大沢野地区自治振興会現地視察
- 15日 氷見市海の探検館、海浜植物園視察
- 16日 正副委員長会議、南防犯協会理事会
- 17日 政調会観光建設部会
- 22日 子どもPT会議、日台友好議連理事会
- 26日 高内自主防災会訓練
- 28日 県地方議員連絡協議会  
北アルプス横断道路構想会議
- 30日 政調会、重要要望説明会  
富山市重点事業説明会
- 31日 国道359号促進同盟会ほか総会

## 主な役職

県議会における所属委員会・部会・議員連盟・調査会等

## &lt;県議会委員会&gt;

経営企画常任委員会 副委員長  
総合交通県土強靱化特別委員会 委員

## &lt;自民党&gt;

県連政務調査会 副会長  
政調会観光建設部会 部会長  
県第2選挙区支部 副幹事長

## &lt;議員連盟&gt;

日中、日韓、日台、日露友好議員連盟  
山村振興、スポーツ振興議員連盟  
砂防促進、拉致、観光振興議員連盟  
自衛隊支援、スカウト、オイスカ議員連盟  
看護、宅建議員連盟  
商工会、MOA議員連盟  
富山県南米協会  
県東部地域活性化協議会

## &lt;自民党調査会&gt;

富山湾未来創造調査会  
雇用問題、医療問題調査会  
農業問題、水産問題調査会  
中山間地域振興調査会

## プロフィール

誕生日／昭和33年8月20日  
婦中町羽根川口生まれ

古里小学校・城山中学校・富山中部高校・新潟大学農学部卒業  
昭和56年／富山県庁入庁  
平成26年／農村振興課長で富山県庁退職  
平成27年／富山県議会議員初当選  
平成31年／富山県議会議員2期目当選

## 連絡先

## 【富山県議会自民党控室】

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7  
TEL 076(431)5244 FAX 076(441)8421

## 【事務所】

〒939-2254 富山市高内52-7（旧大沢野町）  
TEL 076(467)2359 FAX 076(403)2620  
携帯 090-9767-1098  
ホームページ [hppt://www.inoue33.net/](http://www.inoue33.net/)  
E-mail [gaku2014@yahoo.co.jp](mailto:gaku2014@yahoo.co.jp)

県議会の詳しい様子は、  
富山県議会のホームページでご覧いただけます。

富山県議会 <http://www.pref.toyama.jp/sections/0100/>

## ■各種要望、座談会開催受付のご案内

皆様からのご意見、ご要望をいつでも受け付けております。事務所までご連絡下さい。また、3人程度お集まり頂ければ、当方よりお邪魔し、出張ミニ県政報告会を開催させていただきます。お気軽にお声かけ下さい。